

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：沖縄総合事務局道路建設課
担当課長名：松浦 利之

事業名	一般県道 <small>しらほまはえみ</small> 白浜南風見線	事業区分	地方道	事業主体	沖縄県
起終点	自：沖縄県八重山郡竹富町古見 至：沖縄県八重山郡竹富町大富	延長	6.2 km		

事業概要

一般県道白浜南風見線は、国立公園に指定された西表島の白浜から南風見に至る延長約53kmの西部地区から東部地区へ外周する島唯一の幹線で、島民の生活道路、観光道路である。古見～大富工区は仲間港に隣接する大富集落から主要観光地の由布島までの延長約6.2kmについて2車線道路にて整備するものである。

事業の目的、必要性

古見～大富工区は、港から主要観光地までの幅員狭小、線形不良区間の改良により交通の安全性、利便性の向上を図るとともに、住民の生活物資の輸送や観光の振興に大きく寄与するものである。

全体事業費	26 億円		計画交通量	2,300台/日	
費用対効果 分析結果	B/C 1.8	総費用	総便益	基準年 平成15年	
		26億円 （事業費：23億円 維持管理費：3億円）	47億円 （走行時間短縮便益：45億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：億円）		

事業の効果等

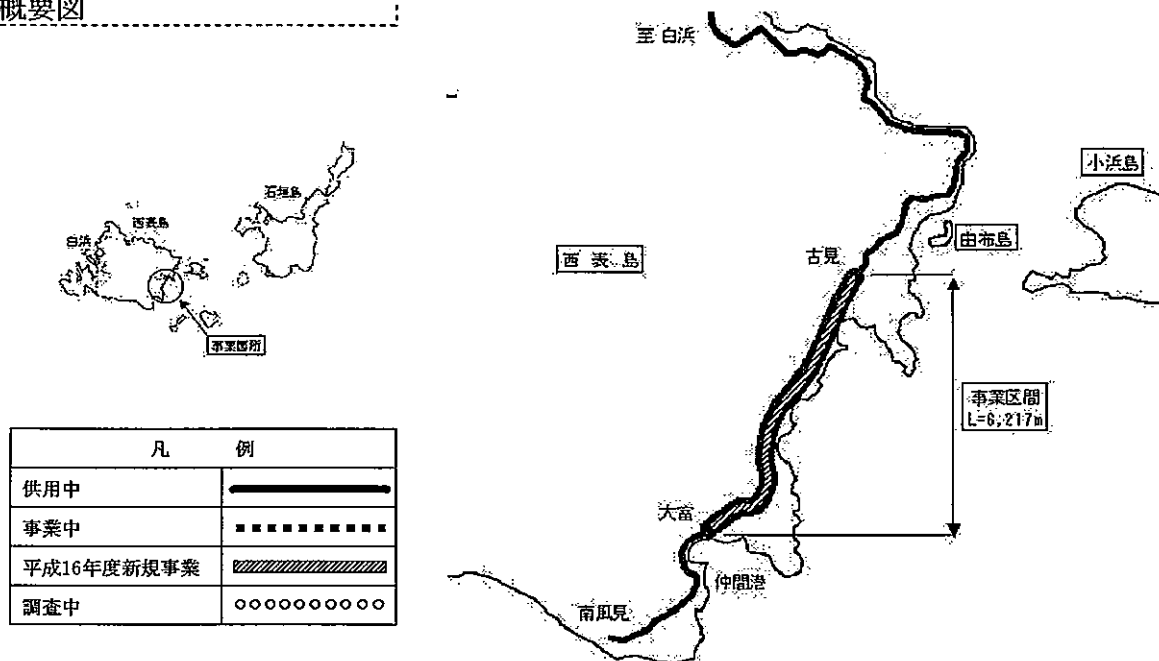
- ・ 国土地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難箇所が改善される）
- ・ 個性ある地域の形成（主要な観光地である由布島へのアクセス向上が期待される）
- ・ 個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である）

他2項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

白浜南風見線は、島唯一の幹線で、住民の生活、産業に重要な役割を果たしているため、竹富町長より早期整備の要望（平成14年11月25日）を受けている。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。